2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	31
所管センター	中国
分野	日本文化
研修コース名（日）	伝統文化（神楽）の継承による日系社会の活性化
受入人数	2
受入時期	下半期
来日日	2025年11月9日（日）
帰国日	2025年12月20日（土）
提案団体（日）	（公財）ひろしま国際センター　研修部
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/syoukou/kagurakyougikai/
研修員必要資格	〇必要資格：満21歳以上（2025年4月1日時点） 〇経験年数：神楽等の伝統芸能活動経験１年以上
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験1年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N3
英語能力（選択）	不問
研修目標	日本各地に、さまざまな形の神楽が伝えられている中でも、広島神楽の特徴は演劇性が強いという点であり、極めて大衆的でのびのびした伝統芸能に発展し、年間を通じて多くの公演活動が行われている。 ブラジルをはじめとする日系社会で神楽の伝統を引き継ぐべく日々活動している若者を対象に、演舞や道具類などの神楽技術の個別指導、効率的な神楽イベントの企画管理運営技術、さらには後継者を指導・育成する技術を伝承するとともに、現地での神楽イベントを通じ、日系社会の全体の連帯と共同意識を高め、日系社会を支えていく担い手としての意識向上を目標とする。
期待される成果 （習得する技術）	この研修を継続的に実施し、神楽団のメンバーが、本場の技術を習得することができれば、日本にルーツを持つ日系文化が中南米において花開き、日系社会のアイデンティティを鼓吹することが期待される。また、研修員は以下の技術を習得することが期待される。 〇広島神楽（新舞）の演舞の技術 〇口上（セリフ）、音曲（笛、太鼓、鉦） 〇大道具、小道具の作成・使用・修理の技術 〇神楽イベントの企画・管理・運営の技術
研修計画 （内容）	〇神楽の基礎、歴史、技法についての講義・見学 〇広島神楽（新舞）の実技指導 〇神楽公演や関連イベントの開催補助（管理運営ノウハウ）実習
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	日本の伝統芸能文化を日系社会に普及・継承することは、日系社会を活性化し、アイデンティティの形成を促進する。また、日系社会の団結力が強化され、そこから以前のようなエネルギーが復活し、現地の産業・地域振興、および中南米諸国民の日本文化広報にも大きく貢献することができる。 過去の研修員が所属するサンパウロのブラジル神楽団は、この研修での成果を活用してさらに技術力が向上しており、サンパウロ州のみならず、遠方のバイア州などブラジル国内で開催される日系イベント等に招かれ、年に10回程度の公演を行っている。確かな技術に裏打ちされた公演は、日系社会の若者たちのモチベーションを高めることに加え、日系以外の市民にも波及効果を及ぼし、地域の活力を高める一助となっている。
応募希望者への特記事項	